児童に見られるつまずき

　話し手の意図をとらえながら、自分の考えを明確にして助言することができない

つまずき解消に向けた指導のポイント

　４つの立場（肯定側・否定側・聞く側・アドバイス側）から討論会を評価することで、話し手の意図を考えながら聞いたり、自分の考えと比べたりできるようにする

指導事例集ｐ．２７

１　学年・単元名　　第６学年 立場を明確にして主張し合い、考えを広げる討論をしよう

『学級討論会をしよう』（話すこと・聞くこと領域）

参考：主課題

２　単元の目標

　　評価をしながら討論を聞き、助言をすることができる。

３　本時の目標

 　相手の考えを聞き、自分の考えと比べながら発言する。

参考：板書

４　本時の展開

|  |  |
| --- | --- |
| 学習活動 | 指導上の留意点**太字：つまずきに対する手立て** |
| １　単元目標と本時の目標を確認する。　　　相手の考えを聞き、自分の考えと比べながら発言できるようにしよう。　　　２　討論会をする。　　論題小学生はスマホを持たなくてもよい思考・判断を促す課題：討論会を見直して、改善するところはどんなところだろうか。２　改善点についてエキスパート班で話し合う。○　討論会をふり返り、よくできたところ、うまくいかなかったところを話し合う。３　エキスパート班で検討したことをジグソー班で助言し合う。４　改善するところをまとめる。５　全体で意見を交流する。６　助言を受けて、次回、特に意識して改善するところをまとめる。７　本時の振り返りをする。 | ・　本単元で学習するめあて達成に向けて、本時の学習をおこなうことを意識させる。「聞くポイント」を確認することで助言の視点を明確にする。・　二次でまとめた「話す」「聞く」「話し合う」時の秘訣や評価する規準を確認させて討論に向かわせる。**・　主課題を解決するために４つの立場（肯定側・否定側・聞く側・アドバイス側）から討論会を評価し、改善点を助言することで、目標に迫ることを確認する。**ホワイトボードと付箋紙を活用することで、要点を押さえて聞いたり、助言することを整理したりしやすくなる。・　エキスパート班は、討論会での役割グループで構成する。エキスパート班　肯定エキスパート、否定エキスパート、聞くエキスパート、アドバイスエキスパート　・ジグソー班は、６エキスパートで構成する。ジグソー班(6～7人)　　肯定エキスパート　＋　否定エキスパート　＋聞くエキスパート　＋　肯定アドバイスエキスパート＋否定アドバイス＋聞くアドバイスエキスパート**・うまくいかなかったところについて、その理由と改善策を考えさせて、助言し合わせる。**助言をし合うために、話し手の意図を捉えながら聞いたり、自分の考えを明確にして助言したりする。 |